



えびの

市議会 だより

第146号

令和7年12月19日

Ebino City Assembly Report 2025/12/19 Vol.146

10月臨時会・定例会議案概要

令和7年10月臨時会は、10月3日の1日間開催し、報告5件、議案1件について審査しました。
また、令和7年10月定例会は10月22日から11月13日までの23日間開催し報告4件、議案11件、認定7件、委員会提出議案1件について審査しました。
(※審査結果の詳細は、4～8ページをご覧ください)

令和7年 10月臨時会 議案総括

報告第9号 専決処分した令和7年度えびの市一般会計予算の補正（第2号）の承認について
西諸広域行政事務組合消防費負担金 4,490万3,000円
えびの消防署内に女性消防士が配属される場合に備え、女性専用施設を整備するものです。

令和7年 10月定例会 議案総括

議案第53号 えびの市犯罪被害者等支援条例の制定について
犯罪に遭われた方や、その家族または遺族の方に対し、支援を行うものです。
①遺族支援金 30万円
犯罪により家族を失った遺族への葬儀費用や生活再建のための経済的支援金
②重傷病支援金 10万円
犯罪による負傷、疾病、精神疾患を負った被害者への経済的支援金
③転居費用助成金 20万円
犯罪被害により現在の住居での生活が困難になった場合の転居費用を助成する支援金
※ P5及びP6に関連記事

議案第56号 令和7年度えびの市一般会計予算の補正（第3号）について
歳入歳出予算の総額にそれぞれ4億725万1千円を追加し、総額158億2,258万6,000円となります。
硫黄山関連岡元地区代替水源事業（県営）において、作ヶ倉谷川（尾八重野）を取水源として計画しているため、浜川原地区に1,400万円かけて、水路の整備が必要となりました。

議案第63号 えびの市特別職の職員で常勤のものの給与の特例に関する条例の制定について
市長の給料月額を令和7年12月から令和9年11月までの2年間ににおいて30%減額し、54万400円とするものです。

認定第6号 令和6年度えびの市水道事業会計決算の認定について
令和6年度の主な事業として、県道京町小林線、市道岡元椿堀線の工事に伴う配水管布設替え工事、水道未布設区域対策事業として岡松地区の工事。山内浄水場の工事を行いました。
本年度の給水戸数は8,313戸、給水人口は16,301人でえびの市内の97%に給水しています。
令和6年度のえびの市水道事業損益結果により、当年度は、4,525万4,832円の赤字との報告があり、前年度からの欠損金を加え、当年度未処理欠損金は、2億5,235万8,423円となりました。

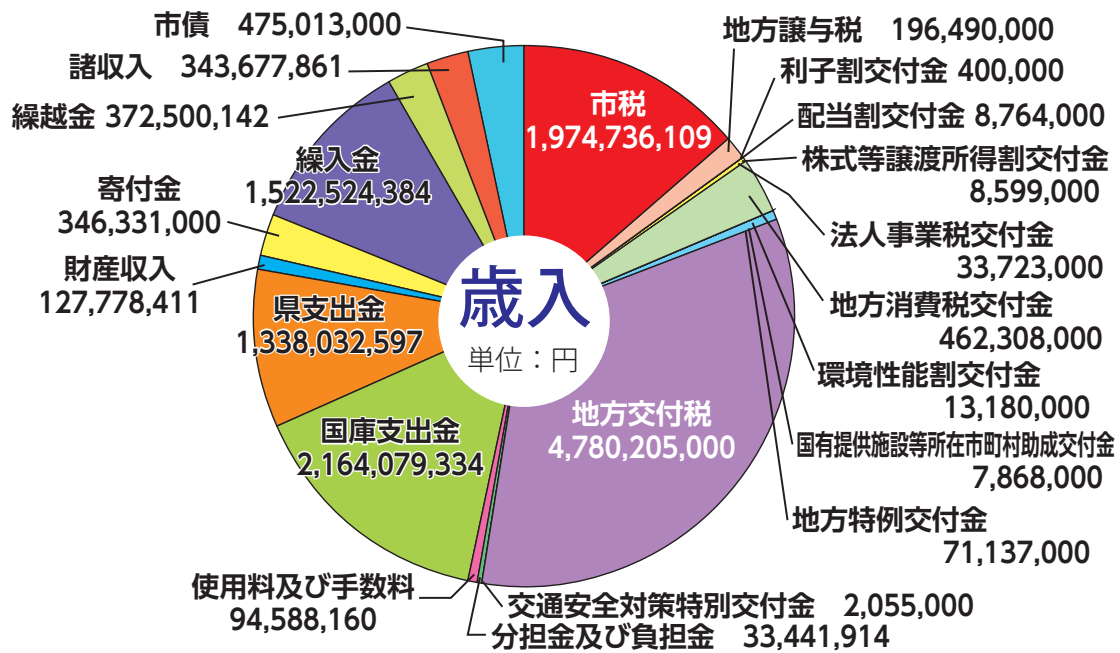
認定第7号 令和6年度えびの市病院事業会計決算の認定について
令和6年度の入院患者数は11,605人で前年比1,753人増加、外来患者数18,756人の137人の増加となりました。
令和6年度のえびの市病院事業損益結果により、当年度は、1億5,485万589円の赤字との報告があり、前年度からの欠損金を加え、当年度未処理欠損金は、9億518万6,053円となりました。

認定第1号 令和6年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について

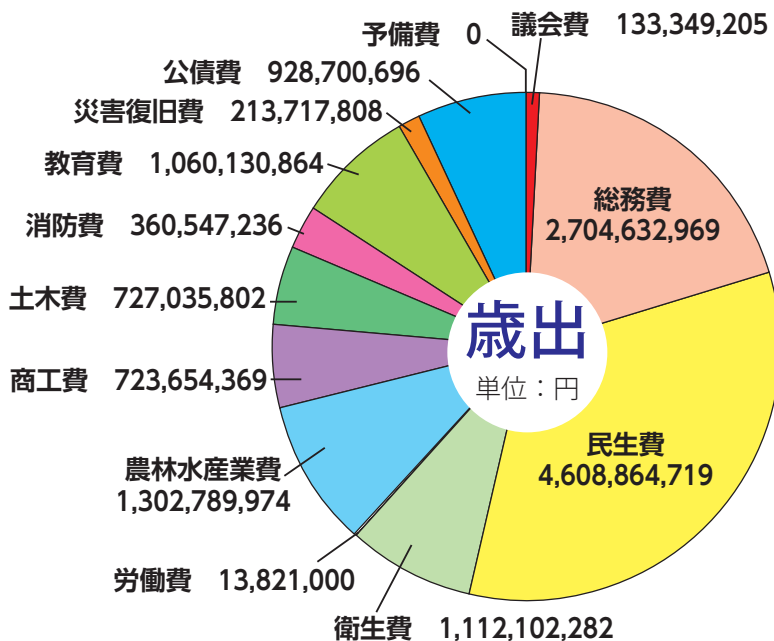
令和6年度えびの市一般会計の収入済額は143億7743万1912円でした。

支出済額は138億8934万6924円。歳入歳出の差引額は4億8808万4988円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を引いた実質収支額は3億801万2000円となっています。

歳入総額 143億7,743万1,912円



歳出総額 138億8,934万6,924円



総務費：給与や行政運営に必要な経費

民生費：福祉にかかる費用

衛生費：健康増進、疾病予防、環境保全などに関連する経費

令和7年10月定例会 総務教育 常任委員会 報告

10月定例会において、当委員会に付託された議案4件・認定2件の審査を行いました。
審査の結果、いずれも原案のとおり可決及び認定すべきものと決まりました。
以下、主な議案等の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第53号 えびの市犯罪被害者等支援条例の制定について

Q 直接、相談窓口に行かないと相談できないのか。

A 窓口は総務課の人権啓発室になると思うが、警察に相談されるなど、いろんな窓口で相談されることになるので、こちらは調整役や、つなぎ相談の対応をしていく。

Q この条例の周知方法は。

A 様々な形での周知、広報等でお知らせする。

②議案第61号 令和7年度えびの市水道事業会計予算の補正（第1号）について

Q 水道事業費用の特別損失とはなにか。

A NHKの受信料の未契約分の過年度分になる。

③議案第62号 令和7年度えびの市病院事業会計予算の補正（第1号）について

Q 給与費でマイナス378万8千円は常勤医師がいなかったからか。

A 常勤医師は5名分の予算を計上していたが、現在1名欠員の4名体制なので、1名分の給料のうち、4月から6月分を減額した。

④認定第6号 令和6年度えびの市水道事業会計決算の認定について

Q 令和6年度水道事業会計決算説明書で、未収金の額が年々増加しているが、特に令和6年度の数字が多い理由は。

A 令和6年度の未収金は現在も

回収を進めているところである。

総務教育常任委員会

委員長 本田 英俊



令和7年10月定例会 産業厚生 常任委員会 報告

10月定例会において当委員会に付託された議案5件、認定4件について審査を行いました。
審査の結果、いずれも原案のとおり可決及び認定すべきものと決まりました。
以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第54号 えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

今回の改正は、印鑑登録及び証明書の交付事務において、性の多様性への配慮として条例にある印鑑登録原票の登録事項から男女の別を削除すること、市民の方が印鑑登録証明申請の際に性別の記載をなくすために、条例の一部を改正するものです。また性別を公的な文書に記入し提出することに心理的負担に感じる

人や、性別を明らかにしたくない人のプライバシーに配慮することを目的にするものです。

Q これまで市民が性別欄への記載をしないという事例はなかったのか。

A 現在使用している申請書の様式には、性別欄を除くことを希望するというようなチェック項目があり、ここを使用される事例は出張所含め年に1、2件であり、対応はしてきた。

②議案第57号 令和7年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について

徴税費52万8千円の増額については、令和8年度から創設される子ども・子育て支援納付金に係るシステム改修委託料を計上するものです。

Q 子ども・子育て支援納付金についてどのような制度なのか。

A この制度は全世代や企業の皆様から支援金を拠出していただき、子育て世代に対する給付の拡充を目的としている。どのようなものに使われるかは、主に児童手当を

18歳まで拡充し、また、時短勤務の方の就業給付や妊婦の方の支援給付を行ったりする目的で徴収するものである。

③認定第5号 令和6年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

Q 令和6年度分の県貸付金償還金及び土地売却収入を各金融機関に繰り上げ償還したことによる効果として利子がどの位安くなったのか。

A 繰り上げ償還による効果は17万7、321円が利子の軽減になる。

産業厚生常任委員会

委員長 田口 正英



令和7年10月定例会 予算審査 特別委員会 報告

10月定例会において、当委員会へ付託された議案1件について審査を行いました。
審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。
以下、議案の審査内容を抜粋して報告します。

議案第56号 令和7年度えびの市一般会計予算の補正(第3号)について

〔総務費〕

庁舎管理費

・NHK受信料 56万7千円

Q テレビ受信が可能な機器が設置されている公用車で、支払いの必要のあったNHK受信料について、今後の対応はどうされるのか。

A テレビ受信の必要性を十分検討した上で、必要のない機器のみ使用できなくし、NHKと協議

しながら適切に対応しようと考えている。またカーナビ等の機器を購入する際には、テレビ受信機器のない機種を選択する予定であり、現在付いている機器については、その型式によってテレビ視聴ができないものもあるので、業者等と協議した上で、取り外す方向で考えている。

Q 今回の受信料は、過去の分まで支払うようであるが、時効の成立はないのか。

A 受信料は5年が時効となっているが、支払いの申し出を行えば時効はないものとされている。

Q 市としては、時効が成立する以前の部分は、支払わなくても良いのではないかとといった考えはなかったのか。

A 行政として支払わなければならないもの、支払われていなかったという考えに基づき、その分を支出するという考えで予算を計上したものである。基本的にはNHKの見解を基に予算計上しているが、今後は関係課や他自治体、NHKとも時効の取り扱いについて見解を伺いながら、支出の方を進めていく考

えである。

【民生費】

人権同和对策事業費

・犯罪被害者支援金

60万円

Q

今回新規事業として、犯罪被害者等の経済的負担の軽減を図るため支援金として必要経費を計上しているが、その中で遺族支援金は1件あたり30万円計上されている。この1件とはどのように理解すればよいか。

A

犯罪の被害により、もし亡くなられた場合に、その遺族の方に30万円支払われるということである。減多にない案件なので、今回1件あたりで計上しているが、万が一事業が2件発生した場合は、その都度補正予算で対応していく。

【農林水産業費】

団体営農業水路等長寿命化・防災減災事業費

・測量設計委託料 1,400万円

Q

浜川原地区の水路の整備とは、具体的にどのような整備をするのか。

A

今回計画している整備は、



県営水質保全対策事業 新田・浜川原地区水管橋

浜川原湧水公園の西側、東長江浦上公民館の間の400mの区間で、現在水路の部分で、コンクリート製の水路に改修するものである。

Q

今まで水路だったものを、今回岡元地区の代替水源のために整備する理由は何か。

A

県営事業で、作ヶ倉谷川から取水した水が、漏れないよう有効活用するための整備である。

【商工費】

スポーツツーリズム推進事業費

・えびの京町温泉マラソン大会実行委員会補助金 1,043万円

Q

えびの京町温泉マラソン大会は現在ハーフマラソンだが、フルマラソンにすれば参加者が増えるのではないか。

A

平成25年からコース設定上ハーフマラソンを導入している。フルマラソンでの検討をした経緯はないが、ランナーからはフルマラソンの方が、人気があり参加者も多いという声は聞いている。しかし駐車場や様々な事情を総合的に考えるとハーフマラソンが一番適切ではないかと考えている。

予算審査特別委員会

委員長 小宮 寧子



令和7年10月定例会

決算審査

特別委員会

報告

10月定例会において当委員会に付託された認定1件について審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決まりました。

以下、認定の審査内容を抜粋して報告します。

【総務費】

職員研修事業費

223万9,888円

Q

資質の向上に対する研修成果や効果を検証する必要がある。どのような取り組みをしているか。

A

日々の業務を通じてOJT（オン・ザ・ジョブ・トレーニング）で指導を行っている。市民の意見や苦情等の事業があった場合には注意喚起に一層努めている。

行政事務連絡事業費

4, 330万5, 230円

Q 自治会未加入者の令和5年と令和6年度の増減の状況はどうか。

A 自治会加入率は、令和5年度80・2%、令和6年度79・2%であり、自治会未加入者は増加している。

Q 未加入者の増加の原因は何か。

A 自治会費の負担が重い、役員が回ってくるからというような意見が聞かれ、加入者が退会するケースが増えている。

Q 自治会と行政が検討、協議して対策を練ってもらえないか。

A まちづくり協議会を立ち上げ、近隣同士の自治体と連携した取り組みを行っている。先進的な取り組みがされているところの研究等をして、自治会と対策を協議していく考えである。

【保健衛生費】

浄化槽設置整備費

1, 726万4, 000円

Q 浄化槽の設置状況はどうか。

A 平成3年度から令和6年度現在まで3, 485基の設置、令和6年度の補助設置基数は48基である。

Q 補助額の状況はどうか。

A 補助額については、新築住宅5人槽で22万2千円、汲み取り単独槽から合併浄化槽への転換は5人槽で33万2千円、これには宅内配管工事15万円と設置費9万円が加算される。

Q 浄化槽の法定検査料の補助について調査はしているか。

A 国の補助はあるが、県が浄化槽台帳をシステム化することが条件になっている。現在システム化の途中であるので、今後注視していく。

【農林水産業費】

6次産業化支援事業費

140万3, 800円

Q 6次産業化に係る補助金額と事業の期間はどうなっているか。

A 補助額については、総事業額の2分の1か、または上限30万円である。期間については、年ごとの事業である。

Q 商品になるかどうかの判断はどのような形で行われるのか。

A 取組事業者と十分に話を進めていく形で行っている。

Q 事業を進めていく中で、指導や要綱の見直しが必要ではないか。

A 6次産業化も大事な事業であるので、要綱などを見直しながら進めていく。

未利用資源活用モデル事業補助金

700万円

Q 竹や粃殻（もみガラ）の粉砕を活用した敷料はどのように使われているか。

A 畜産の敷料とするものである。

Q 面白い取り組みである。堆肥など用途や業種を広げていく考えはないか。

A いずれは、そのようなことを考えない訳ではないが、今のところは、敷料をつくることに取り組む考えである。

【商工費】

企業立地対策事業費

4, 157万6, 002円

Q 雇用対策助成金の実績が21人の740万円だが、どのような内容か。

A 指定企業に雇用された従業員に対して直接交付するもので、基本的には助成金30万円であるが、えびの市住民には10万円上乘せする。これは実績に対し雇用されてから1年を経過した後に交付するものである。

Q 指定企業の認定は誰が行うのか。

A 市が認定する制度で、えびの市に立地した企業が市に申請することになっているものである。

Q 広告作成委託料について、新聞広告に掲載した件数と金額の内訳、費用対効果についてはどうだったか。

A 新聞広告の実績は、3件の23万8千円で、全日本トラック協会（1件）と日刊工業新聞（2件）に掲載した。掲載後に数件の問い合わせがあり、一定の効果があつた。

Q YouTube（ユーチューブ）で発信した件数、金額の内訳、費用対効果はどうだったか。

A 本編動画委託料9万9千円、ショート動画制作委託料1万1千円で、費用対効果としては、ショート動画と本編動画を合わせて3,685回の視聴になっている。

【商工費】
スポーツツーリズム推進事業費

Q スポーツ合宿61団体の受け入れはえびの市内での合宿のことか。

A スポーツ観光推進協議会が宿泊を助成した、えびの市

Q 内での宿泊団体数である。宿泊所が対応しきれない団体を、スポーツ合宿の振興に繋げていけないか。

A 宿泊的な事業所がえびの市内にも少しずつ増えているので、えびの市全域的に合宿できる所を紹介する形で対応をしている。

白鳥温泉施設管理費

Q 環境整備委託料19万8,264円の内容は何か。

A 白鳥温泉上湯の水中ポンプ4つの電気回路の内、1つの回路に雑木が触れて給水できない状態になった。その雑木の伐採費用である。

Q 白鳥温泉下湯のケビンの屋根や現在使われていないアスレチックは早めの整備が必要ではないか。

A 現状を確認している中ではあるが、予算執行できるものかなかった。検討していく考えである。

注釈

OJT

「オン・ザ・ジョブ・トレーニング」

実際の業務を通じて上司や先輩が部下や後輩に指導し、実践的な知識やスキルを習得させる人材育成手法

決算審査特別委員会

委員長 松窪 ミツエ



整備されていない白鳥温泉下湯のケビンの屋根



鳥獣捕獲に対する支援の拡充を！



戒谷 暁
議員



質問 山間部の農業は、草刈りの労力が重く獣害も多いため、平野部と同じように市場競争にさらされると継続が困難になる。中山間地域農業への支援、担い手の確保についてどのように考えているか。

畜産農政課長 中山間地域等直接支払い交付金を活用し、現在8集落に対して支援を行っている。また、耕作されない農地の解消方法の一つとして、有機農業の取り組みが考えられる。市内の有機農業者等で構成されるエコロジカルタウンえびの推進協議会では、耕作放棄地等を活用し、本市で有機農業を目指す人材を呼び込み、担い手として育成していく計画がある。



質問 令和6年度の農作物の鳥獣被害額は7,006万2千円と令和5年度の3,619万2千円に比べて約2倍に増加している。現在の対策だけでは不十分だと考えるが、野生動物の捕獲に対する一頭あたりの補助額を増やすことはできないか。

農林整備課長 鳥獣被害対策実施隊からは、現在そういった意見は出ていないが、今後聞き取りを行いながら検討していきたい。

拠点校部活動送迎支援について



川野 亮
議員



質問 令和7年6月に「拠点校部活動制度に対する要望書」を保護者関係者方々の署名を添えて提出したがその後の動きは。

教育長 その後教育委員会検討し、9月の西諸県地区中学校秋季体育大会前に2回、宮崎県中学校秋季体育大会前に2回、市バスを利用し送迎支援を試行的に行なった。

質問 保護者からは大変ありがたかったと感謝の声を頂いている。新年度に向けて、拠点校部活動に対する送迎支援を改めてできないか同う。

教育長 部活動における生徒の活動機会の確保、保護者の負担軽減、生徒の安全確保等の観点からも重要な課題であり、送迎支援の

必要性は理解している。しかし、授業終了時刻や学校間の連絡調整等による学校への負担、運行に必要な車両や人員確保など課題がある。現在、生徒、保護者及び各中学校の全ての教職員を対象にアンケートを実施している。その結果を踏まえながら、運行上の課題、公費負担の在り方、学校、教育委員会の責任範囲など慎重な検討が必要ではないかと考えている。



王子原運動公園について



末原 由美子
議員



質問 近年、気候変動による突如の雷雨や熱中症の対策として、運動公園利用者への対応を伺う。

社会教育課長 熱中症対策については、社会教育課では、各スポーツ少年団に対し、スポーツ庁、日本スポーツ協会より出されている「スポーツ活動中の熱中症事故等の防止について」の資料に基づき、適切な予防措置、指導者等の責任、熱中症対策取り組み事例等を周知している。また、各施設の掲示板には、落雷、熱中症等の注意喚起を行っているが、施設の利用は、各団体の判断で決める。雨風が凌げる所は、多目的広場内4ヶ所、野球場との間に5ヶ所を設置している。

質問 旧テニスコートがあった



市民が楽しめる王子原運動公園

場所に、雨風が凌げる様な避難場所を設置出来ないか。

教育長 雨風が凌げる避難場所を作る予定は無いが熱中症対策としては、時間帯を考え、ベンチや東屋を利用して頂き、大会などあれば、市の方でテントの貸し出し等の準備をしている。熱中症や雨風が凌げる対策として考えている。まずは、施設利用者の安全が第一である。

市立病院の在り方を市長に聞く！



松窪 ミツエ
議員



質問 市立病院を更に信頼される病院として継続していくためには、どのように考えているか。

市長 医療技術だけでなく、患者への配慮、スタッフの資質の向上、環境整備、医療治療の透明性の確保など、多角的な取り組みが必要と考えている。基本的には職員の言葉づかい姿勢等にも留意し、親切丁寧な接遇、患者に寄り添った対応を心掛けていく。ご意見箱の設置で意見を直接いただき、患者へのサービスの向上や環境改善につながることも取り組んでいるので、多くの方に信頼されることで患者増、収益増となり、ひいては病院経営の安定化にもつながると思っている。

質問 施設の老朽化により、患

者にはトイレ・病室などの不便さや不都合さを感じさせていないか、この点をどう受け止めているか。

事務長 患者に不便、負担をかけていることは認識している。可能な限り不具合などの解消を図ってきている施設の状態ではあるが、快適に利用できるよう診療環境の向上に努めたいと考えている。

質問 灯油、LPガス購入補助には不公平性を感じないか。

市長 別途補助対策を考える。



地域医療の中核 えびの市立病院

道の駅拡張と市役所の節電



本田 英俊
議員



質問 道の駅えびのの駐車場の拡張と投資について伺う。

市長 駐車場の拡張の必要があり、滞在型の道の駅として、全天候型の子供の遊び場など市民からの意見や要望を検討していく。

質問 商工会が行っている商業祭りへの支援について伺う。

市長 地域内での需要喚起、商業振興に貢献していると思うが、効果等精査して支援していく。

質問 えびの市の全施設の電気代はどれ程か。

市民環境課長 全部で約1億9千万円程である。

質問 蛍光灯をLEDに変えると電気代は半分以下になるが進捗状況は。

市民環境課長 LED未対応が



道の駅えびの

56%ある。

質問 新たに農業を始める時の新規就農交付金の補助額は。

畜産農政課長 月12万5千円の3年間である。

質問 3年間の給付を5年間に延長出来ないか。

畜産農政課長 国からの就農準備資金と経営改善資金を合わせる5年間受けられる。

持続可能な農業政策について



落 哲郎
議員



質問 農業従事者の高齢化に伴う農業の担い手不足及び用水路の維持管理における人手不足の解消策を伺う。

畜産農政課長 本市においても農業従事者の高齢化が進んでおり、対策が喫緊の課題であることは十分に認識している。県内外で行われる就農相談会等に参加し、本市で農業を始める人材の確保に努めているが、人手が不足している状況であり、県外からの参入者の獲得に苦慮している。そういった状況の中で、本市では年間数名の方が後継者としての就農や農業法人等に就職するなど新規に就農している実態はある。

農林整備課長 用水路の維持管理については、多面的機能支払交

付金事業に取り組んでおり、自治会等で農業者や地域住民も含めた組織を立ち上げて頂き、作業を行う区域の水田等の面積に応じた交付金が市から組織に交付される。

作業に参加された方々の日当や機械借り上げ料金等の支払いに充てることができるため、用水路等の維持管理が行いやすい環境が整うものと考えている。



ハウス栽培

県・国の財政支援を求む！



田口 正英
議員



質問 現在硫黄山水質改善施設の運営は県が維持管理ということ認識してよいか。今後の管理についてはどのようなになるのか。

市長 これまで県によって運用、維持管理が行われている。今後施設の安定的な運用と、マニュアル等の整備に2年程度要すると見込み、令和8年度からは、市が維持管理を行うこととしている。

質問 水質改善施設は現状のままで引き継ぐのか。改善されていないのではないのか。

建設課長 現在水質改善施設内には浚渫物が仮置きされている。令和7年度内には全て処分する。またゲートやポンプ設備など、全て点検を行い適切に対応するように申し入れている。



えびの高原硫黄山

質問 維持管理費はどの程度になるのか。

建設課長 県が要した費用を試算すると、年間一千万円ほど見込んでいる。

質問 維持管理費を県・国に一部を負担してもらう考えはないか。

市長 財政的には補填していくという明文化したものを県には提出する。

公約の実現性について



小宮 寧子
議員



質問 市長公約の即応政策として掲げた三つの物価高対策は、本市の厳しい財政状況の中で、どのように実現させていくのか。

市長 就任後、関係課と検討し、状況整理や情報収集の中で相当の課題が出た。県や国、市内外の情報収集を行い市の財政状況も踏まえ適時的確な形で具現化したい。

質問 即応政策は、現段階では何も決まっていないのか。

市長 即応政策と言っても1、2カ月という単位ではなく少し長い単位で見えていく。国の情勢も見て工夫して、給付か還元をしたい。

質問 公約には、えびの市立病院にMRIや緊急用ヘリポートの設置を掲げているが、施設の老朽化や厳しい経営状況が続く病院に

本当に必要か。

市長 市民からの求める声をもとに、中核病院として長期的には必要であり視野に入れていく。

質問 公約には、子どもや若者、子育て世代に対して具体的な支援が示されていないが、どのような政策を考えているか。

市長 子どもが遊べる場所が少ないという声を聞く。子どもの遊び場の新設を必要な所に設ける。

9月21日 回 えびの市長選挙

市長が掲げた選挙公約

新議会構成決まる

令和7年10月臨時会において、9月21日投開票の市議会議員選挙後の新たな議会構成が決まりました。

新議長のもとに、全ての委員会メンバーや議会選出委員等も新しくなりました。

※所管する課

総務課、企画課、財政課、基地・防災対策課、市民協働課、財産管理課、税務課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、水道課、市立病院、教育委員会に関する事項

※他の委員会に属しない事項

議会広報特別委員会

▼委員長 本田英俊
▼副委員長 増田 輝
▼委員 田口正英
小宮寧子
戎谷 暁

大平落哲郎
末原由美子

えびの市畑地かんがい事業推進協議会

▼委員 吉留優二
川野 亮

人権同和問題啓発推進協議会

▼委員 吉留優二
小宮寧子
本田英俊
田口正英

産業厚生常任委員会

▼委員長 田口正英
▼副委員長 末原由美子
▼委員 増田 輝
川野 亮
小宮寧子

西諸広域行政事務組合議会議員

▼議員 松窪ミツエ
大平落哲郎
小宮寧子

小林・えびの間道路改良促進期成同盟会

▼監事 吉留優二
▼理事 田口正英
▼会 員 末原由美子
増田 輝
川野 亮
小宮寧子

議会運営委員会

▼委員長 松窪ミツエ
▼副委員長 大平落哲郎
▼委員 戎谷 暁
田口正英
小宮寧子
増田 輝

※所管する課

市民環境課、健康保険課、介護保険課、観光商工課、畜産農政課、建設課、農林整備課、企業立地課、こども課、福祉課、農業委員会に関する事項

えびの市戦没者追悼奉賛会

▼委員 吉留優二
小宮寧子

えびの市青少年育成市民会議

▼委員 松窪ミツエ
増田 輝

総務教育常任委員会

▼委員長 本田英俊
▼副委員長 戎谷 暁
▼委員 大平落哲郎
松窪ミツエ
吉留優二

議会選出監査委員

▼委員 川野 亮

都市計画審議会委員

▼委員 吉留優二
川野 亮
大平落哲郎

他に、川内川改修促進期成会、JR吉都線利用促進協議会、にしもろ定住自立圏構想首長議長会、霧島ジオパーク推進連絡協議会、宮崎県鉄道整備促進期成同盟会、高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会、川内川上流河川改修期成同盟会、飯野高等学校を守り育てる市民の会、国道447号整備促進期成会、えびの市郷土芸能保存連合会は議長のおて職となっています。

令和7年10月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託 委員会	番 号	件 名	審議結果	吉 留	大 平 落	戎 谷	増 田	末 原	本 田	川 野	小 宮	田 口	松 窪
	報告第 5号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—										
	報告第 6号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—										
	報告第 7号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—										
	報告第 8号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—										
	報告第 9号	専決処分した令和7年度えびの市一般会計予算の補正（第2号）の承認について	原案承認	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第52号	監査委員の選任について	同意	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和7年10月定例会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託 委員会	番 号	件 名	審議結果	吉 留	大 平 落	戎 谷	増 田	末 原	本 田	川 野	小 宮	田 口	松 窪
	報告第10号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—										
	報告第11号	株式会社えびのの経営状況を説明する書類の提出について	—										
	報告第12号	令和6年度えびの市健全化判断比率について	—										
	報告第13号	令和6年度えびの市資金不足比率について	—										
総務教育	議案第53号	えびの市犯罪被害者等支援条例の制定について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第54号	えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第55号	えびの市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算審査 特別委員会	議案第56号	令和7年度えびの市一般会計予算の補正（第3号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第57号	令和7年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正（第2号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第58号	令和7年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第59号	令和7年度えびの市介護保険特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第60号	令和7年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第61号	令和7年度えびの市水道事業会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第62号	令和7年度えびの市病院事業会計予算の補正（第1号）について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号	えびの市特別職の職員で常勤のものの給与の特例に関する条例の制定について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査 特別委員会	認定第 1号	令和6年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第 2号	令和6年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第 3号	令和6年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第 4号	令和6年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第 5号	令和6年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	認定第 6号	令和6年度えびの市水道事業会計決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	認定第 7号	令和6年度えびの市病院事業会計決算の認定について	認定	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 委員会提出議案

	委員会提出 議案第1号	議会広報特別委員会の設置について	原案可決	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○
--	----------------	------------------	------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

／：議長は裁決に加わらない ○：賛成 ●：反対 —：棄権



議会広報特別委員会
委員長 本田 英俊

長く暑かった夏が終わり、短い秋はすぐに過ぎ、木枯らしの季節となりました。

9月の選挙では新しい市長、新しい議員が選出されました。それぞれの議員は、自己研鑽を重ねながら、議員力を高め、さらに議会力の向上に努め、理想のえびの市作りに向かって、貢献したいと努力しています。

選挙の後、10月議会が始まり、すぐに12月議会に入りました。議員一同忙しい毎日を送りながら、議会だよりにも取り組みました。これからの議会だよりは、より多くの市民の皆様読んでいただく、わかり易いものにするため、様々な取り組み、工夫をしていきたいと考えています。

これから変革していく議会にも注目していただきたいと思います。

編集後記